

審 議 結 果

会 議 名	令和 8 年度 第 1 回 川口市立科学館運営審議会
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 8 日（水）午前 1 0 時 0 0 分から 1 2 時 0 0 分まで
開 催 場 所	SKIPシティ A 1 棟 1 F 多目的室 （所在地：川口市上青木 3-12-18（SKIP シティ内））
出 席 者	渡邊会長・郡副会長・星野委員・河口委員・功刀委員・吉岡委員・永瀬委員・小石委員・田實委員 （事務局） 太田教育総務部長・荒井館長・久保田主幹・廣戸副主幹・石山副主幹・鈴木主査・井上主査
議 題	(1) 川口市総合計画及び川口市教育振興基本計画の改定について (2) 令和 7 年度事業報告について (3) プラネタリウム全天周デジタル映像装置改修について (4) その他 ※ 閉会后 施設見学(プラネタリウム番組鑑賞・特別展視察)
公開／非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由	
傍 聴 人 の 数	2 人
会 議 資 料	会議次第 資料No.1 川口市立科学館運営審議会委員名簿 資料No.2 第 6 次川口市総合計画(抜粋) 資料No.3 川口市教育振興基本計画(令和 8 年度～令和 12 年度・抜粋) 資料No.4 令和 7 年度入館者数及び使用料等実績等 資料No.5 プラネタリウム全天周デジタル映像装置改修 別資料 特別展「われら、ガイライ界限。」の開催報告書
審 議 経 過	別紙とし添付する。
そ の 他	

審 議 経 過 （会議録）

1 開会（10：00）

(1) 会長挨拶

(2) 事務局説明

- ① 委員11名のうち9名出席で過半数に達していることから、川口市立科学館運営審議会条例第7条第2項の規程により本審議会が成立している旨、事務局より報告。
- ② 審議会公開のため傍聴希望者を募集したところ2名の申込者がおり、許可を得て入室。
- ③ 事務局より配布資料の確認。
- ④ 事務局人事異動者自己紹介。

(3) 協議事項

① 議事録署名人の選任。

議事録署名人の選任について事務局より説明。

議事録署名人を慣例により名簿順とし、今回は吉岡委員と永瀬委員を選出、承認された。

2 議題

（議事は川口市立科学館運営審議会条例第7条第1項の規程により議長（会長）が進行。）

(1) 川口市総合計画及び川口市教育振興基本計画の改定について

○議長

議題(1) 川口市総合計画及び川口市教育振興基本計画の改定について、事務局の説明をお願いする。

○事務局

資料2・3に基づき、事務局から説明。

以上議題(1)について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに以下の質問と回答がなされた。

○委員

資料6ページの生涯学習施設の利用者数の推移について、令和5年度に比べ6年度は減っているが、その原因は人口減少によるものなのか。

○事務局

科学館としては増加しているが、その他施設の減少の要因が人口減少によるものかについては

把握していない。

○委員

資料４～５ページの「めざす姿」の体系が、第５次では「子どもから大人まで“個々が輝くまち”」として、学校教育・青少年健全育成・生涯学習が同じ項目となっていたが、第６次総合計画を基に策定された教育振興基本計画では、「こどもの成長をサポートする基盤づくり」に学校教育・青少年健全育成が含まれ、科学館が含まれる「生涯学習・スポーツができる環境づくり」と分かれている。これにより、教育振興基本計画の主な取り組みである「博学連携による学校教育活動等の充実」の実効性が担保されるのか、委員の意見も含め教えてほしい。

○委員

出前授業などは非常に人気のコンテンツで、理科教育は通常の授業でも行うが、科学館職員の方の演示等によって更に興味が深まり、次のステップへうまく繋がれていると感じている。よって、連携は十分にできていると感じている。

○委員

教育研究会や部活動でも科学館という組織を活用しており、科学館があるからこそ学校教育との連携がしやすくなっていると考えている。

○事務局

生涯学習推進の柱として科学館は位置付けられており、年齢を問わず学びたい全ての方が対象となる施設である。よって現計画においても、学校等との連携・協力体制を更に発展させていこうと考えており、今後も皆様のご協力をお願いしたい。

○委員

基本目標の項目を超えた具体的な取り組みとして、夜間中学での天体観測出張授業や施設の時間外対応などの実績もある。夜間中学は大人の生徒が多く、生涯学習との連携がしっかりできている証であり、非常に感謝している。

(2) 令和７年度事業報告について

○議長

議題(2) 令和７年度事業報告について、事務局の説明をお願いします。

○事務局

資料４①～⑤に基づき、事務局から説明。

以上議題(2)について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに以下の質問と回答がなされた。

○委員

資料15ページの「ア. 入館者数」について、入館者数は過去最高を記録したとのことだが、科学展示に対するプラネタリウムの人数比率を見ると、令和4年度51%だったものが7年度は41%となっている。その原因は。

○事務局

年度によってプラネタリウム番組の人気に差がある。特に投影回数や観覧者数の多い夏番組の人気の影響が大きいと考えている。

○事務局

令和7年度、観覧者数としてはプラネタリウムも大きく増加したが、科学展示の増加も非常に大きく、比率としてはそれも要因の一つと考えている。科学館全体としては喜ばしいことだが、担当としてはプラネタリウムの比率が少しでも上がるよう、今後も努力していく。

○委員

小学校団体が増加すると科学展示の入館者が増加するのか。そうだとすれば、その方々がプラネタリウムに行くような流れは無いのか。

○事務局

市内小学校については、学習投影という枠でプラネタリウムを観覧するプログラムがあり、それに付随して科学展示室を利用するというのが一般的であるが、市外の多くの学校団体は時間の制約などもあるのか、科学展示室見学に併せてプラネタリウムの観覧にまで至っていないのが現状であると感じている。

(3) プラネタリウム全天周デジタル映像装置改修について

○議長

議題(3) プラネタリウム全天周デジタル映像装置改修について、事務局の説明をお願いする。

○事務局

資料5に基づき、事務局から説明。

以上議題(3)について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに以下の質問等はなかった。

(4) その他

○議長

議題(4) その他について事務局より何かあるか。

○事務局

次回の審議会日程について、例年だと来年１月末～２月上旬頃を予定している。よろしく願いしたい。

以上議題(4)について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに以下の質問等はなかった。

○議長

質疑等なしとのことなので議事を終了する。これで議長の任を降り、進行を事務局に戻す。

3 閉会（１１：０５） 副会長挨拶

4 プラネタリウム番組鑑賞及び特別展視察（１１：１０～１２：００）

5 終了